

本公開講演会では九州北部の自然・文化を題材とした先進的かつアイデアに満ちた可視化技術を紹介します。これらを基に、地域の魅力的な地理的コンテンツをいかに可視化して地域振興につなげるかを議論します。

日本地理学会では、九州大学での日本地理学会学術大会に合わせ、市民のみなさんへの公開講演会を開催します。どなたでも参加できますので、どうぞご来場ください。

日時

2026年9月12日(土)

13:00~16:30

会場

九州大学伊都キャンパス
センター2号館2403講義室(定員248名)
(福岡市西区元岡744)

講演プログラム

講演① 池見 洋明 日本文理大学工学部教授
「磨崖仏・石垣に刻まれた大分の地質
—ジオパークへの貢献と発信—」

講演② 岩佐 佳哉 福岡教育大学教育学部講師
「高解像度地形データの取得・可視化手法と
それらを活用した大分・熊本をはじめとする
災害対応・調査の事例」

講演③ 黒木 貴一 関西大学文学部教授
「DEMIによる新たな地形表現方法
—剰余地図で見える微小な地形変化—」

講演④ 菅 浩伸 九州大学浅海底フロンティア研究センター教授
「観光地の海岸と海底をあわせて可視化する
—福岡県芥屋大門の海食崖を例に—」

講演⑤ 高場 智博 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター助教
「五島列島における潜伏キリシタン集落の可視化と
普及啓発を通じた地域振興」

定員

会場参加

248名

オンライン参加

500名

お申込方法

- 会場参加(対面参加)は申込不要です。
当日直接会場へお越しください。
- オンライン参加のご希望は右のQRコードから
事前に登録をお願いします。
(オンライン参加の申し込み受け付けは8月10日から開始)



『可視化で見える 九州北部の新しい姿』

「地域を理解するための可視化技術」

市民公開講演会

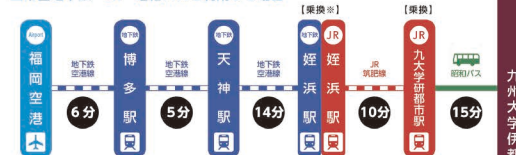
公益社団法人日本地理学会主催
福岡市教育委員会、糸島市後援
福岡地理学会共催

参加費
無料

会場までのアクセス



市営地下鉄・JR・昭和バスを利用する場合



西鉄バスを利用する場合



公益社団法人 日本地理学会

<https://www.ajg.or.jp>

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16学会センタービル内

お問い合わせ

- 公益社団法人日本地理学会 交流専門委員会
e-mail office@ajg.or.jp
- 九州大学浅海底フロンティア研究センター 菅 浩伸
e-mail seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp